

「閉町」にあたって



宮之城町議会議長

酒 匂 守

宮之城町の閉町にあたり、宮之城町議会を代表して、ごあいさつを申し上げます。

「宮之城町」、「鶴田町」、「薩摩町」による三町合併に伴い、宮之城町議会も現在の二〇名の議員を最後に、その幕を閉じることになりました。

町民の皆様には、今まで多くのご意見、そしてご指導を賜り、心から感謝申し上げますとともに、厚くお礼を申し上げます。先人達が築きあげた輝かしい「宮之城町」の歴史に対して、今ここに、一つの終止符を打つと

き、感慨深きものがあります。

豊かな自然に恵まれた我が町「宮之城町」は、北薩地方の産業、交通の要衝の地として発展を続け、歴史にその足跡を刻んでまいりました。

顧みますと、旧宮之城町は、大正八年に町制を施行し、その後、町村合併促進法に基づき、昭和二十九年一月一五日に佐志村と、翌年の昭和三〇年四月一日に山崎町と合併して、人口約三万人の新「宮之城町」が発足し、以来五〇年間、幾多の苦難を乗り越えて、着

実な町勢発展を遂げてまいりました。

これもひとえに、諸先輩方並びに町民皆様のご努力の賜と深く敬意を表する次第であります。

さて、いよいよ、三月二十二日には、新町「さつま町」が誕生いたします。「宮之城町」の町制五〇周年という節目は、有終の美を飾る節目であり、そして、新「さつま町」へ飛躍していく転換の節目でもあります。皆様にも「合併してよかった」と思っていただけ町づくりにへの取り組みが喫緊の課題となつてまいります。これからも、みんなで力を合わせて、「住んでよかった」といえる町づくりに取り組んでいきましょう。最後になりましたが、新町「さつま町」の限りない発展と、皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

～新町「さつま町」への期待～

「宮之城町議会だより」の最終号を発行することになりました。いよいよ3月22日、新町「さつま町」が誕生します。現職の議員全員の「新町「さつま町」への期待」を紹介いたします。（議席番号順に掲載）



内田芳博副議長

新「さつま町」が開花するには、勇気と希望をもって、町民が丸となって知恵と力を出すべきと考えます。

高度成長により日本は経済大国となりましたが、長期債務残高も七七四兆円に達しています。さつま町も二〇億円の長期債務があります。財政改革と町勢発展をめざしたビジョンを作成し、町民が求めるものを真摯に探り、計画に反映させる姿勢が重要です。

広域的な農業振興への取り組みや、進出企業を含めた地場産業の振興を図り、若者が希望をもてる地域づくり、高齢者にやさしい社会づくり、勇気と希望を育む教育の町づくりを、新町「さつま町」に期待したい。